

- 記者発表資料 -

**京浜港ドック及び実海域等を実証試験場として提供し、  
海洋・港湾の技術開発を促進します。【公募】**

海洋・港湾における技術開発の早期実用化に向けて、平成31年度実証試験の公募を開始いたします。

昨年度までは京浜港ドックのみを提供していましたが、今年度は関東地方整備局港湾空港部管内の実海域等試験場も公募します。

(詳細につきましては、別添を参照)

1. 技術開発課題

今回公募する技術開発課題は以下のとおりです。

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| (1) 効率的な港湾工事の施工技術         | (5) 海洋における有用な調査技術 |
| (2) 航路啓開における測深・海底状況把握技術   | (6) 海洋資源調査技術      |
| (3) 遠隔離島における海洋・港湾土木技術     | (7) 港湾施設の即時的な計測技術 |
| (4) 海中における遠隔操作を可能とする有用な技術 | (8) その他           |

2. 公募手続き等

下記ホームページに掲載している公募要領等を確認の上、応募をお願いします。

<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/03info/03kisya/2019/0410/20190410.html>

3. 公募期間

(1) 京浜港ドックにおける実証試験

平成31年4月10日(水)～平成31年5月20日(月)17時まで

(2) 実海域等における実証試験

一次申請:平成31年4月10日(水)～平成31年4月22日(月)17時まで

二次申請:一次審査選定通知発行日～平成31年5月20日(月)17時まで

**発表記者クラブ**

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

**お問い合わせ先**

関東地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課 課長

課長補佐

係長

たかはし やすひろ

高橋 康弘

くぼ てつや

久保 哲也

すがわら りょう

菅原 亮

電話 045-211-7420 FAX 045-211-0204

## ◎京浜港ドック概要

京浜港ドック施設諸元		
長さ(m)	幅(m)	深さ(m)
109.0	24.5	8.5

※実験における水深は-5.5mを予定



## ◎実証試験実績

### ○京浜港ドック実証試験

#### 平成28年度

- ・水中物体の位置と形状確認の精度に関する実証実験
- ・航空レーザー測深機と水中点検ロボを組み合わせた海洋における有用な調査技術の検討
- ・水中部のひび割れ補修に関する実証実験
- ・水中i-Constructionのための水中ソナーによる出来形管理の検証

#### 平成29年度

- ・自律航行無人艇の技術開発
- ・重力式係船岸増深工法の適用に関する実証試験

#### 平成30年度

- ・海域利用拡大が期待される土砂材料の汚濁拡散特性の把握と汚濁低減を追求した施工手法の検証
- ・水中工事における施工状況把握技術
  - －水中レーザースキャナーによる精密測定システムの検証－

### ○実海域等実証試験

- ・RC部材の局所振動試験と塩害に対する構造性能評価に関する研究(本牧ふ頭地区岸壁)
- ・音響ビデオカメラ実海域試験(測量精度確認と水中視認及び撮像)  
(東京港中央防波堤外側海域)

### ○実証試験状況

